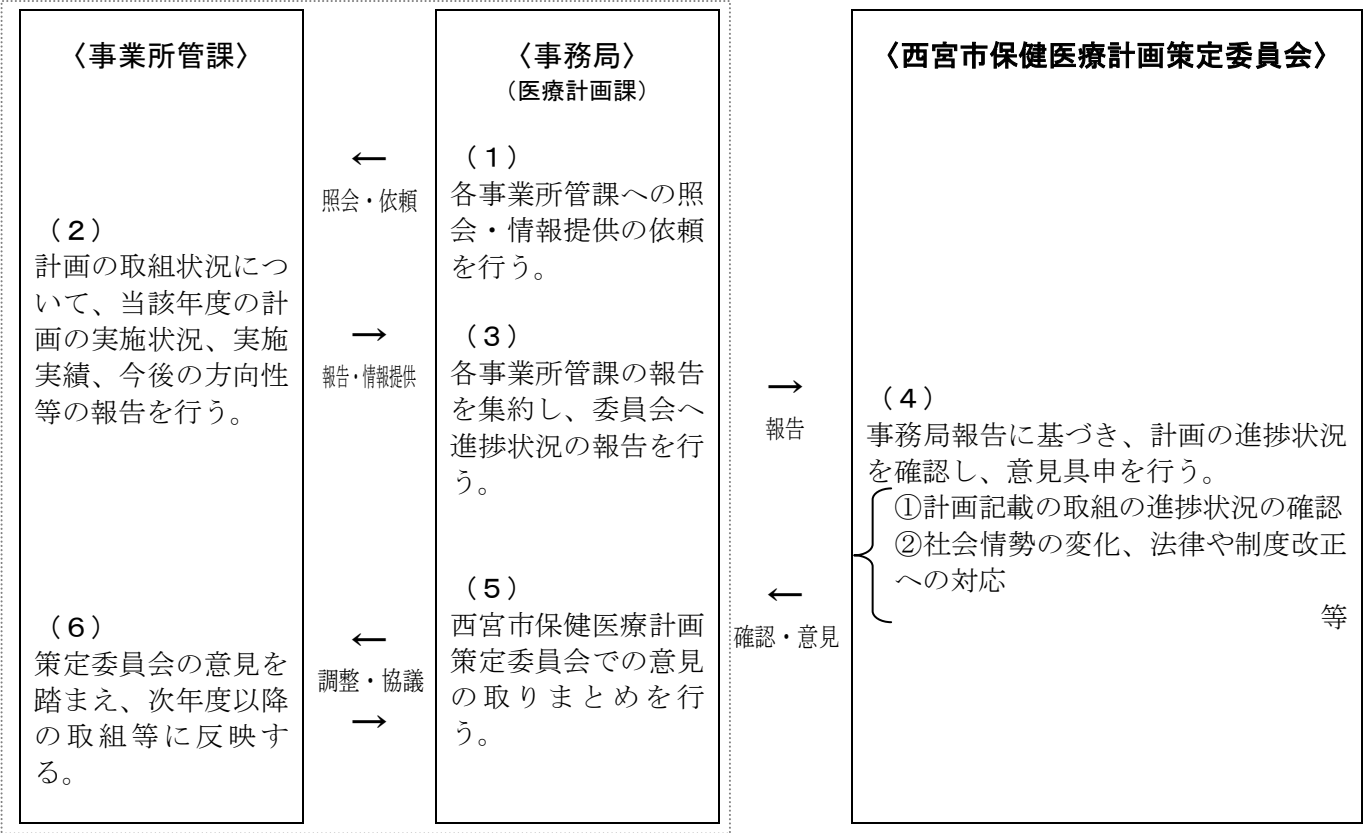


西宮市保健医療計画の進行管理について

1. 計画の進行管理の進め方

計画の進行管理については、事務局（医療計画課）が各事業所管課に対して取組状況の照会を行い、結果を集約したものを、「西宮市保健医療計画策定委員会」に報告することで、計画全体の進捗状況の確認を行います。

2. 進行管理の流れ



H29. 1. 27
策定委員会
資料 No 2

西宮市保健医療計画進捗状況報告書

平成 29 年 1 月

西 宮 市

【資料の記載内容について】

西宮市保健医療計画に記載されております取組について、主なものを推進方針として抽出したうえで、実施状況及びこれを踏まえた今後の課題と方向性について、計画の基本理念「すべての市民が、住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち・西宮」を実現するための3つ基本目標別に体系化された施策ごとにシートを作成し記載しています。

報告書目次

基本目標1 救急・災害時医療が充実したまち

施策①	救急医療の充実	2
施策②	災害時医療体制の強化	5
施策③	健康危機管理の強化	7

基本目標2 住み慣れた地域で適切な医療が受けられるまち

施策①	在宅医療・介護連携体制の構築	
- (1)	在宅医療体制の強化	8
- (2)	在宅医療・介護連携の推進	10
- (3)	認知症対策	11
施策②	医療連携の推進	13
施策③	北部地域の医療課題の解決	14

基本目標3 健康でいきいきできるまち

施策①	疾病予防対策の充実	15
施策②	保健・医療に関する情報の発信と普及啓発の強化	16

市立中央病院の役割

施策①	市立中央病院の役割	17
-----	-----------	----

(報告書見本)

施策① 救急医療の充実

〈主な今後の取組（推進方針）〉

西宮市保健医療計画に記載されている「今後の取組」から主なものを推進方針として抜粋、要約し記載しています。

※事務局で、現状、特に重要と評価する取組については、ゴシック体で表示しています。

〈実施状況（平成27年度、平成28年度）〉

取組に対する市関係部署を中心とした所管での実施状況、実績について記載しています

※事務局で、現状、特に重要と評価する取組にかかる実施状況については、ゴシック体で表示しています。

〈今後の課題と方向性（平成29年度以降）〉

取組の実施状況、実績を踏まえた、今後の課題と取組の方向性について記載しています。

※来年度以降、重要となると考えられる方向性、課題については、ゴシック体で表示しています。

※特に重要と評価する取組の選定については、具体性が高いもの、早期に実施が可能でありかつ継続的な実施が必要であるもの、対象となる市民が多いなど市民への影響が大きいと思われるもの、特に市民のニーズとリンクすると思われるもの等を基準に事務局で総合的に判断しています。

基本目標 1 救急・災害時医療が充実したまち

施策① 救急医療の充実

〈主な今後の取組（推進方針）〉

(1) 救急医療体制

- ・休日・夜間の1次救急体制の円滑な運営と維持・拡充
- ・市内の1次救急情報、制度についての周知

(2) 適正受診

- ・「健康医療相談ハローにしのみや」等の電話相談の周知、利用促進
- ・救急医療体制に対する理解、適正利用の促進を目的とした普及啓発の推進

(3) 救急搬送

- ・「h-Anshinむこねっと」の2次救急システム等の活用による救急受入照会回数の減少・搬送の円滑化

(4) 病院前救護

- ・応急手当の必要性、知識・技術について広報、普及啓発

〈実施状況（平成27年度、平成28年度）〉

(1) 救急医療体制

- ・**実施済**従来からの休日・夜間の救急体制に加え、27年度より阪神北広域こども急病センターとの連携を開始し1次救急医療体制を拡充しました。

【参考】一次救急医療体制の利用実績

	平成27年度	平成28年度(9月末現在)
西宮市応急心療所(内科・小児科)	17,223人	6,450人
在宅当番医制(外科・産婦人科・内科・小児科)	7,811人	3,271人
特殊救急医療	1,625人	618人
休日歯科診療	598人	152人
阪神北広域こども急病センター	592人	348人

- ・**実施済**一次救急情報について、さくらFM、市のホームページ、市政ニュース等で広報を行っているほか、周知用のチラシを配布し認知度の向上に努めています。

【参考】一次救急情報の広報実績

	平成27年度	平成28年度(※9月末現在)
市のホームページへの掲載	掲載中	掲載中
さくらFMでの情報発信	3回	1回
市政ニュースへの掲載	・毎月1回情報掲載 ・特集記事を2回掲載	・毎月1回情報掲載 ・特集記事1回掲載
チラシ配布	・乳幼児健診、定期予防接種対象者、各種関連行事参加者等へ配布	・乳幼児健診、定期予防接種対象者、各種関連行事参加者等へ配布
その他市発行媒体への掲載	・母子手帳、地域情報誌「宮っ子」に情報掲載	・市民べんり帳、子育てガイド、みやっこ救急ガイド、母子手帳に情報掲載

(2) 適正受診

- ・**一部実施済**市のホームページにおいて、1次、2次、3次救急の役割について掲載しています。
- ・**実施済**一次救急情報及び27年度よりサービスを開始した「健康医療相談ハローにしのみや」について、さくらFM、市のホームページ、市政ニュース等で広報を行っているほか、周知用のチラシを配布し認知度の向上に努めています。

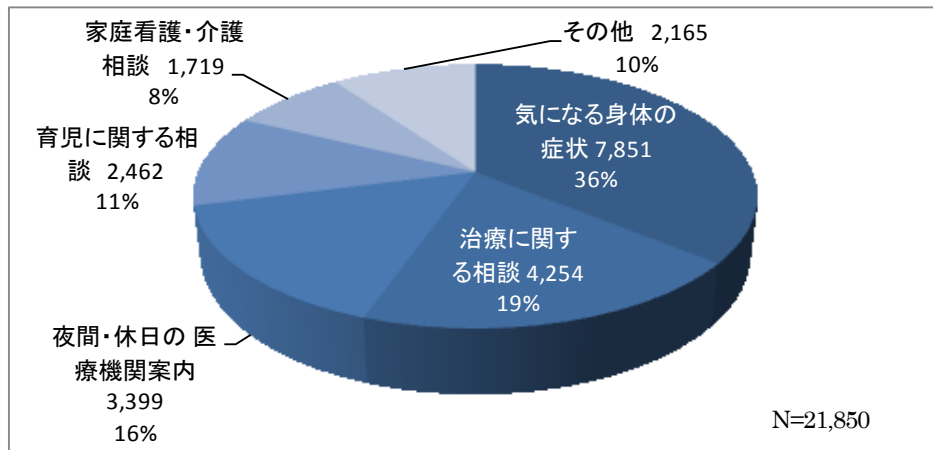
【参考】「健康医療相談ハローにしのみや」の利用件数

	平成27年度 (平成27年7月～平成28年3月)	平成28年度 (平成28年4月～平成28年10月)
入電件数	13,325件	10,486件
1日あたり平均	48.5件	49.0件

【参考】「健康医療相談ハローにしのみや」相談件数 (H27年度)

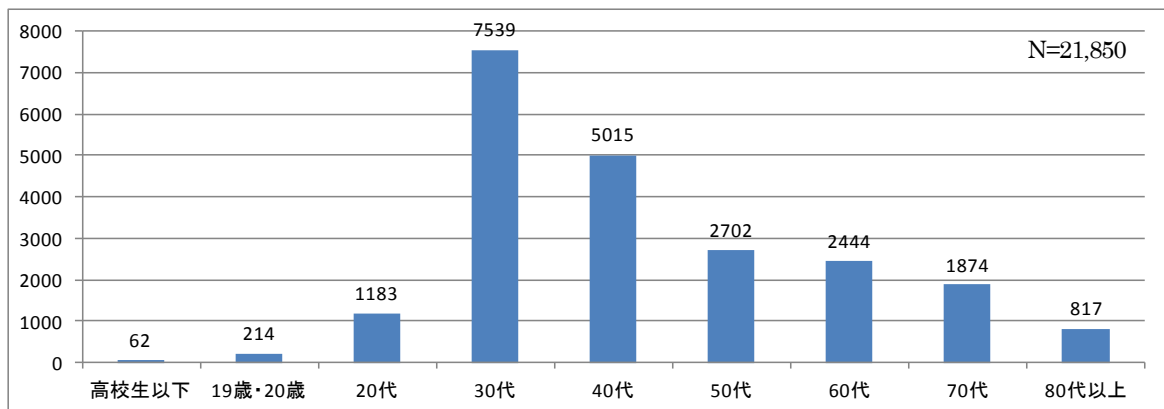
相談件数 21,850件

①内容別

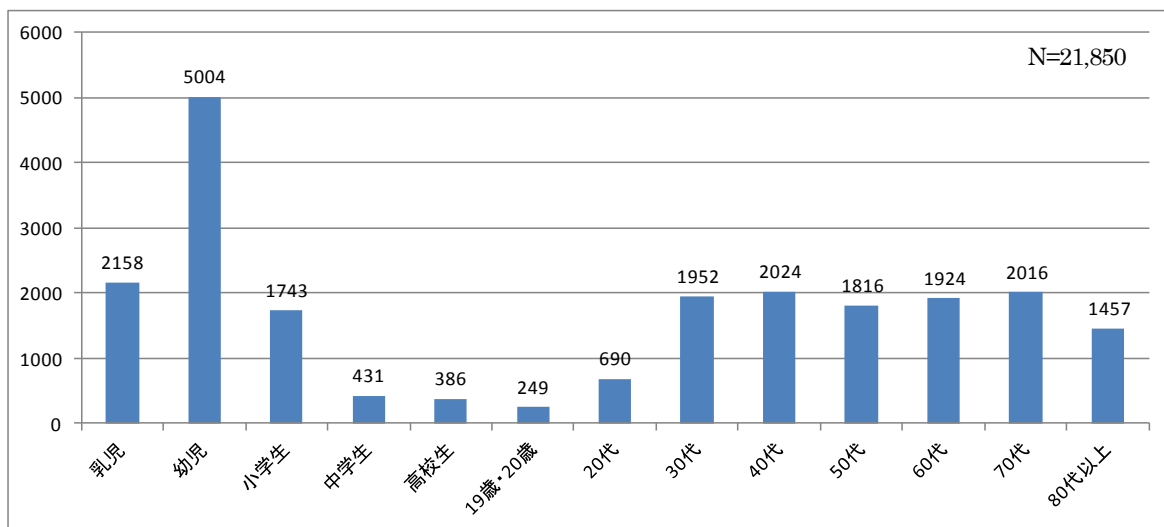


②年代別相談件数

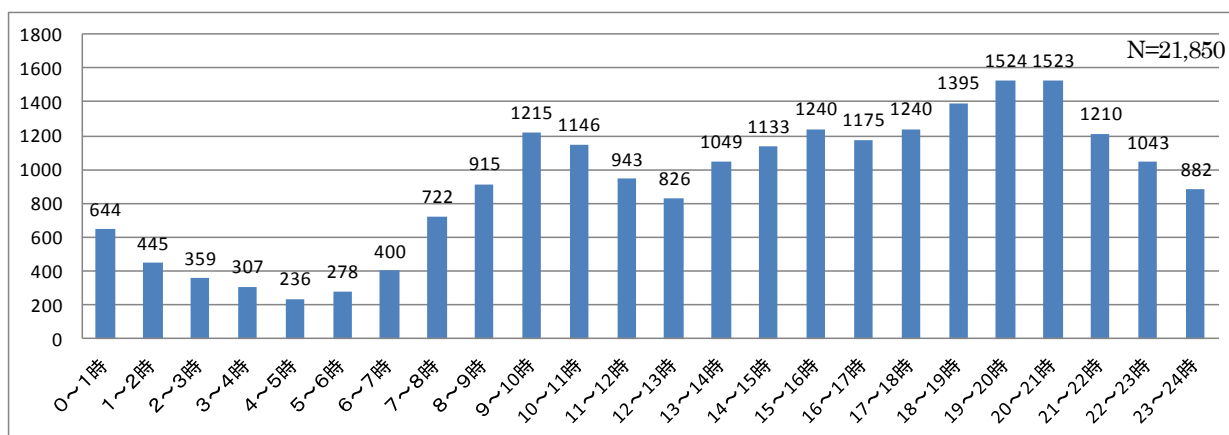
【相談者年代別】



【対象者年代別】



④時間帯別



【参考】「健康医療相談ハローにしのみや」の広報状況

	平成 27 年度	平成 28 年度 (※9 月末現在)
市のホームページ	掲載中	掲載中
さくら FM での情報発信	3 回	1 回
市政ニュースへの掲載	・ 6/25 号以降毎号 (計 18 回) 電話番号を掲載 ・ 特集記事を 3 回掲載	・ 毎号電話番号を掲載 ・ 特集記事 1 回掲載
チラシ配布	・ 事業開始時に全戸配布 (約 21 万部) ・ 乳幼児健診、定期予防接種対象者、市外からの転入世帯、各種関連行事参加者等へ配布	・ 乳幼児健診、定期予防接種対象者、市外からの転入世帯、各種関連行事参加者等へ配布
その他市発行媒体への掲載	・ 母子手帳、地域情報誌「宮っこ」に情報掲載	・ 市民べんり帳、子育てガイド、みやっこ救急ガイド、母子手帳に情報掲載

(3) 救急搬送

- ・ **実施済** 「h-Anshin むこねっと」の2次救急システム等を継続して活用したことから、救急受入照会回数は減少傾向にあります。

【参考】 救急搬送における医療機関問合せ回数

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全搬送数	18,817	—	19,777	—	20,083	—	20,335	—	15,599	—
1～3 回 (再掲)	17,521	93.1%	18,319	92.6%	18,859	93.9%	19,384	95.3%	15,192	97.4%
4 回以上 (再掲)	1,296	6.9%	1,458	7.4%	1,224	6.1%	951	4.7%	407	2.6%

※平成 28 年は 9 月末現在

(4) 病院前救護

- ・ **実施済** ホームページ、各種イベントにおける広報を行っているほか、消防局・各消防署において救急講習会を実施しています。

〈今後の課題と方向性 (平成 29 年度以降)〉

- ・ 今後も関係機関と連携し、救急体制の安定的な運営に努めます。
- ・ 救急医療体制や制度、サービスの認知度の向上・利用促進には、長期的な活動が求められることから今後も継続的に周知・広報を行います。
- ・ 「h-Anshin むこねっと」の2次救急システムについて、今後も継続して活用し、救急受入照会回数の減少に繋がります。

施策② 災害時医療体制の強化

〈主な今後の取組（推進方針）〉

(1) 応急医療体制の整備

- ・災害時に備えた医療救護体制の整備、救護所等の開設場所の指定
- ・西宮市災害医療救護連絡協議会の設置、災害発生時に関係機関で設置する医療救護活動本部の円滑な運営の確保
- ・災害発生時の市内医療機関のライフラインの確保について関係機関と協議の推進
- ・兵庫県広域災害救急医療情報システム等を活用した傷病者の受け入れ状況の把握、迅速な救急搬送
- ・災害時の医薬品不足を防止に向けた医薬品の迅速・確実な確保方法の確立

(2) 情報収集・情報発信

- ・西宮市医師会等との連携による市内医療機関の被災状況の迅速な把握、情報共有の手段の強化、関係機関への医療情報の提供

(3) 患者情報の把握

- ・処方歴の共有化に向けた電子お薬手帳の普及啓発

(4) 要援護者に対する支援

- ・平時からの災害要援護者の把握、災害発生時に慢性腎不全患者や人工呼吸器装着患者等の受け入れ体制、必需医薬品の確保

〈実施状況（平成27年度、平成28年度）〉

(1) 応急医療体制の整備

- ・**実施済**平成28年8月1日に、医療機関・医療関係団体と連携し、災害医療及び公衆衛生対策を実施するため「初動医療体制の整備」及び「医療救護活動本部の設置」について協議を行う場として、医師会、歯科医師会、薬剤師会、災害拠点病院、市関係部署職員から構成される西宮市災害医療救護連絡協議会を設置しました。

【参考】西宮市災害医療救護連絡協議会の協議（予定）内容

- ①大規模災害時における医療救護活動に関する課題の洗い出し
- ②実効性のある具体的な取り組みについての取り決め
- ③「西宮市災害医療救護活動マニュアル」の策定
- ④必要に応じた災害協定の締結
- ⑤状況に応じた体制整備の協議及びマニュアル改定

- ・**早期実施予定**今後、西宮市災害医療救護連絡協議会において、医療救護活動本部の運営を始め、災害時の医療救護体制・救護所等の開設場所の指定、医薬品の確保、災害拠点病院や関係団体との連携強化等の応急医療体制の整備について、今後、協議調整を行っていきます。

【参考】西宮市災害医療救護連絡協議会の協議スケジュール

【平成28年度】	
第1回（平成28年10月5日）	(1) 災害時医療救護活動における課題の整理 (2) 課題に対する意見交換
第2回（平成28年12月20日）	(1) 課題に関する意見交換 (2) 「西宮市災害医療救護活動マニュアル」(案)の協議
第3回（平成29年3月下旬頃）	「西宮市災害医療救護活動マニュアル」(案)の協議
【平成29年度】	
協議会を2回程度開催予定	「西宮市災害医療救護活動マニュアル」の策定
【平成30年度】	
協議会を1～2回程度開催予定	状況に応じた体制整備及びマニュアルの整理

- ・**早期実施予定**市内医療機関のライフラインの確保について今後関係機関と協議を進めます。
- ・**実施済**災害発生時には、兵庫県広域災害医療情報システム等を搬送先の決定に活用しています。

【参考】兵庫県広域災害医療情報システムの緊急搬送要請の活用実績（実災害 平成24年～）

	実施日	要請圏域	要請内容
1	平成24年 6月13日	神戸 阪神南 阪神北	刺激臭により約20名が気分不良を訴えている 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
2	平成24年 11月24日	神戸 阪神南 阪神北	ワンボックスカーの単独事故により負傷者多数の模様 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
3	平成25年 4月26日	神戸 阪神南 阪神北	乗用車・トラック・大型バス計5台の関係する事故により負傷者多数の模様 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
4	平成25年 8月12日	神戸 阪神南 阪神北	異臭により11名が気分不良を訴えている 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
5	平成27年 7月25日	神戸 阪神南 阪神北	防波堤にプレジャーボートが衝突し、負傷者多数の模様 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
6	平成27年 7月31日	神戸 阪神南 阪神北	乗用車5台の関係する事故で、負傷者多数の模様 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
7	平成27年 11月29日	神戸 阪神南 阪神北	乗用車4台と自転車の関係する事故で、負傷者多数の模様 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
8	平成28年 1月1日	神戸 阪神南 阪神北	ワンボックスの横転事故で、負傷者多数の模様 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う
9	平成28年 3月28日	神戸 阪神南 阪神北	乗用車2台の事故で、負傷者多数の模様 圏域内の複数の医療機関への受け入れ要請を行う

(2) 情報収集・情報発信

- ・**早期実施予定**市内医療施設の被災状況及び稼働状況の迅速な把握のために、医療連盟と安否情報確認システムの構築に向けて協議を行っていきます

(3) 患者情報の把握

- ・**実施済**電子お薬手帳の普及啓発を継続していきます

(4) 要援護者に対する支援

- ・**早期実施予定**西宮市災害医療救護連絡協議会において、平時からの災害用援護者の把握、災害発生時に慢性腎不全患者や人工呼吸器装着患者等の受け入れ体制、必需医薬品の確保の方法について協議を行う予定です。

〈今後の課題と方向性（平成29年度以降）〉

- ・西宮市災害救護連絡協議会において災害時における応急医療体制の整備、関係機関・団体との連携等について協議していきます。
- ・**課題**ライフラインの優先供給については、市の関係部局の他に、様々な外部機関との調整が必要になります。

施策③ 健康危機管理の強化

〈主な今後の取組（推進方針）〉

- ・市民への感染症とその予防対策に関する知識を習得してもらうための啓発活動の推進
- ・HIV、結核等の早期発見と早期治療に繋げるための検査相談事業の実施、広報
- ・接種機会を確保するなど予防接種事業を充実、対象者への周知、接種の促進
- ・感染症発生時の二次感染・感染拡大の防止のための迅速な対応、広報周知、疫学調査、健康診断の実施

〈実施状況（平成27年度、平成28年度）〉

- ・**実施済**インフルエンザ、デング熱、HIV、結核等の感染症について、さくら FM、市政ニュースへの掲載、パンフレット、リーフレット、ポスターの配布等、広報・啓発活動を実施しています。
- ・**実施済**予防接種の延べ接種者数は、平成27年度中は、153,197人、平成28年度上半期で54,522人になっています。
- ・**実施済**感染症発生時には、感染症法に基づき疫学調査を実施しています。

【参考】 疫学調査の実施実績

		平成27年度	平成28年度 (※9月末現在)
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2件	3件
	細菌性赤痢	1件	0件
	バラチフス	1件	0件
四類	デング熱	1件	2件
	レジオネラ	5件	2件
	A型肝炎	0件	1件
五類	侵襲性髄膜炎感染症	2件	0件
	風疹	1件	0件
	麻疹	0件	5件
	疑い例	デング熱1件 ジカ熱3件	麻疹11件

〈今後の課題と方向性（平成29年度以降）〉

- ・感染症についての広報・啓発活動については、感染症の発生状況を注視し、今後も状況に応じた効果的な啓発に努めます
- ・**課題**結核予防対策については、増加する高齢者について効果的な啓発活動ができるようにするなど今後も検討が必要です。
- ・**課題**おたふくかぜなどの今後見込まれる定期予防接種の増加に対応して事業を実施するには予算の増額等の措置を検討していく必要があります。

基本目標 2 住み慣れた地域で適切な医療が受けられるまち

施策① 在宅医療・介護連携体制の構築 - (1) 在宅医療体制の強化

〈主な今後の取組（推進方針）〉

(1) 在宅医療の推進

- ・在宅療養相談支援センターを通じた診療所医師をはじめとした地域の専門職の連携支援
- ・在宅医療を推進するうえで不可欠となるかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師（薬局）の普及に向けた周知、啓発

(2) 退院支援からの日常の療養支援

- ・病院から在宅医療・介護への円滑な移行を図るための退院支援に向けた取組の推進
- ・在宅療養相談支援センターと高齢者あんしん窓口等の連携の推進
- ・在宅療養で重要となる訪問看護師の人材不足に対応するための訪問看護ステーションの人材確保

(3) 看取り

- ・在宅での看取りに対する理解を深めるための市民向けの「フォーラム」の開催
- ・市民向けの在宅療養ガイドブック「望む暮らしをわがまちで」の作成・配布

〈実施状況（平成 27 年度、平成 28 年度）〉

(1) 在宅医療の推進

- ・**実施済**在宅療養相談支援センターにおいては、専門職からの在宅療養に関する相談を受け付け、支援を行っています。

【参考】在宅療養相談支援センターの設置及び相談受付状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
設置状況	甲東・甲陽園圏域 (平成 27 年 11 月 1 日～) 瓦木圏域 (平成 27 年 11 月 1 日～)	甲東・甲陽園圏域 瓦木圏域 鳴尾圏域 (平成 28 年 10 月 1 日～) 北部圏域 (平成 28 年 10 月 1 日～)	甲東・甲陽園圏域 瓦木圏域 鳴尾圏域 北部圏域 中央圏域 (未定)
相談件数	33 件	34 件 (※平成 28 年 9 月末迄)	—

- ・**実施済**かかりつけ医及びかかりつけ薬剤師（薬局）の役割について、市ホームページや市政ニュース等により普及啓発を実施しています。かかりつけ薬剤師の役割について、啓発資材（「かかりつけ薬剤師・薬局を持ちましょう」と記載した袋）を作成しています。

(2) 退院支援からの日常の療養支援

- ・**検討中**在宅療養相談支援センターが中心となり、兵庫県保健所とも連携し、退院時の病院と在宅介護の標準的な引継ルールの策定に向けた取組を行っています。

- ・**実施済**在宅療養相談支援センターとして、高齢者あんしん窓口からの相談に応じているほか、圏域内の課題について協働で取り組んでいます。

【参考】高齢者あんしん窓口から在宅療養相談支援センターへの相談件数

	平成 27 年度	平成 28 年度 (※平成 28 年 9 月末迄)
相談件数	9 件	12 件

(3) 看取り

- ・**実施済**市民向けの看取りに関するフォーラムを訪問看護ステーションネットワーク西宮が主体となって開催しています。(平成27年度に看取りをテーマにしたシンポジウムを1回開催)
- ・**実施済**平成27年度に、在宅療養についてまとめた市民向けガイドブック「望む暮らしをわがまちで」を作成・配布しています

平成27年度	平成28年度 (※平成28年9月末迄)
2,877冊	1,584冊

〈今後の課題と方向性 (平成29年度以降)〉

(1) 在宅医療の推進

- ・平成29年度に、中央圏域への設置に向けた準備を進めていきます。また、相談内容等について今後、分析等が必要となっていくと思われれます。
- ・今後もかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師(薬局)について普及啓発に努めます。

(2) 退院支援からの日常の療養支援

- ・退院から在宅療養まで円滑に移行できるよう慎重に国モデル事業に準拠した退院時の病院と在宅介護の標準的な引継ぎルールの策定を進めます。また、ルール策定後は、運用状況の把握等が必要となります。
- ・今後も新たに設置される在宅療養相談支援センターと高齢者あんしん窓口等が円滑な連携が図れるよう努めていきます。

(3) 看取り

- ・看取りにかかるフォーラムを継続して開催するほか、各種団体との連携を強化していきます
- ・市民向けの在宅療養ガイドブック「望む暮らしをわがまちで」を窓口等で配布するほか、ホームページ等で広報に努めていきます。

施策① 在宅医療・介護連携体制の構築 - (2) 在宅医療・介護連携の推進

〈主な今後の取組（推進方針）〉

- ・在宅医療と介護の連携を促す相談支援拠点の整備
- ・医療、介護等多職種で構成されたメディカルケアネット西宮などが実施する専門職向けの研修会や事例検討会の実施による「顔の見える関係づくり」、関係者のネットワーク作りの推進
- ・医療、介護等の多職種を含む関係者の協働を目的とした情報共有ツールの導入・普及
- ・訪問診療や往診を行う診療所の情報や介護サービス事業所の特徴などの地域資源の把握
- ・高齢者あんしん窓口の高齢者にかかる総合相談窓口としての機能強化と医療機関との連携推進

〈実施状況（平成 27 年度、平成 28 年度）〉

- ・**一部実施済**市内 5 つの医療介護連携圏域に順次、在宅療養相談支援センターの設置を進めています。
- ・**実施済**メディカルケアネット西宮が主体となり多職種連携のための事例検討会や勉強会を実施しています。

【参考】事例検討会・勉強会実施状況

	平成 27 年度	平成 28 年度（平成 28 年 9 月末現在）
事例検討会	3 回（5 圏域ごとに実施）	1 回（5 圏域ごとに実施） ※今後 2 回実施予定
勉強会	1 回	

- ・**実施済**平成 28 年 1 月に、ご本人、ご家族と多職種の支援者が協働できるよう、情報共有ツールである「みやっこケアノート」を作成した他、普及・活用のために研修会や勉強会を実施しています。

【参考】みやっこケアノート普及活動状況

	平成 27 年度	平成 28 年度（平成 28 年 9 月末現在）
配布実績	333 冊	485 冊
研修会	年 6 回（偶数月に実施）	3 回実施済（年 6 回実施予定）
勉強会	1 回	実施予定

- ・**一部実施済**在宅療養相談支援センターをはじめ、各職能団体において、資源の把握調査を行っています。
- ・**一部実施済**地域ケア個別会議や地区ネットワーク会議を活用し、地域支援ネットワークの構築を進めながら、相談窓口としての高齢者あんしん窓口の強化を図っています。

【参考】地域ケア会議の開催数

	平成 27 年度	平成 28 年度（平成 28 年 9 月末現在）
開催数	138	144

〈今後の課題と方向性（平成 29 年度以降）〉

- ・平成 29 年度中の中央圏域の在宅療養相談支援センターの設置に向け準備を進めていきます。
- ・メディカルネット西宮を中心に事例検討会、勉強会等の実施を継続し、医療介護連携の推進に努めていきます。
- ・みやっこケアノートの普及に向けた取組を行います。
- ・地域ケア会議を活用し、医療機関との連携強化に取り組みます。
- ・**課題**在宅療養相談支援センターが収集した地域の医療介護にかかる資源について、関係者間での共有や見える化が今後の課題です

施策① 在宅医療・介護連携体制の構築 - (3) 認知症対策

〈主な今後の取組（推進方針）〉

(1) 地域における支援体制の構築

- ・認知症サポーターの養成、認知症チェックシートを用いた啓発、認知症ケアパスの導入を進めるなどの地域での支援体制の構築の推進
- ・認知症サポート医によるかかりつけ医に認知症診断等に関する相談・助言の実施
- ・認知症高齢者への適切な対応力の向上をはかるための高齢者あんしん窓口職員や介護関係者等への研修の実施
- ・介護関係者等支援者間の連携強化による認知症高齢者等への支援体制の構築を推進
- ・筋力向上を目的とした地域で自主的に取組む「西宮いきいき体操」参加者に対して認知症に関する講義の実施

(2) 認知症初期集中支援チーム

- ・複数の専門職が家庭を訪問し早期のアセスメント、受診勧奨を実施する「認知症初期集中支援チーム」の設置の検討

〈実施状況（平成 27 年度、平成 28 年度）〉

(1) 地域における支援体制の構築

- ・一部実施済市民及び介護事業所等の支援者に対し、認知症への理解を深める取組を実施し、地域での支援体制の構築を推進しています。

【参考】地域での支援体制の構築に向けた取組の実施状況

	取組内容	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績 (※平成 28 年 9 月末現在)
認知症サポーター養成講座の	講座を開催し、認知症の方や家族の方を地域であたたかく見守り、応援する人材の育成を行う	認知症サポーター養成講座 開催 158 回 (受講者 4,534 人)	認知症サポーター養成講座 開催 63 回 (受講者 1,548 人)
認知症チェックシートを用いた啓発	兵庫県作成のチェックシートを活用し、認知症の早期発見・早期治療に繋げる	高齢者あんしん窓口を設置し啓発を行っている	高齢者あんしん窓口を設置し啓発を行っている
認知症ケアパスの作成・配布	国の新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）に定める認知症ケアパスの普及に取り組む	全市版が完成、市民、医療機関等への配布開始	全市版の配布数：約 25,000 部 地域版の作成に向け取組み中
認知症研修会の実施	認知症高齢者への支援を効果的に行うため、介護サービス事業所向けの研修会を実施	開催 13 回 (延べ参加者数 315 人)	開催 6 回 (延べ参加者数 170 人)
認知症つながりフェアの開催	関係団体との協働を図りネットワーク体制の構築を進めるため実施	開催 1 回 (参加団体 30 延べ参加者数 150 人)	開催 1 回（予定）
認知症地域支援推進員の配置	高齢者あんしん窓口認知症地域支援推進員を配置、地域の支援機関を繋ぐ連携支援や本人・家族を支援するための支援を実施	1 名配置	2 名配置
認知症カフェ開設・運営支援	認知症の方やご家族が気軽に集い、相談できるカフェの開設・運営支援を実施	1ヶ所新規開設(合計3ヶ所)	1ヶ所新規開設(合計4ヶ所)

(2) 認知症初期集中支援チーム

- ・**検討中**認知症初期集中支援チームの設置に向け関係機関と協議を進めています。

〈今後の課題と方向性（平成 29 年度以降）〉

(1) 地域における支援体制の構築

- 認知症サポーター養成講座
 - ・今後も引き続き地域の企業や学校等へ開催に向けた働きかけを行うとともに、ステップアップや活動の場の情報提供の充実を図ります。
- 認知症ケアパス
 - ・全市的な普及の方法を検討するほか、地域版ケアパスの作成に取り組めます。
- 認知症研修会
 - ・**課題** 今後は一部の職員に偏ることなく、専門職全体の底上げにつながる実施方法の検討が必要です。
- 認知症つながりフェア
 - ・**課題** 認知症に関する正しい知識を広めるために、より関心を持ちやすい情報発信のあり方を検討するとともに、フェアが現場での連携につながるよう、さらなる工夫が必要です。
- 認知症地域支援推進員
 - ・平成 28 年度より 2 名体制となったため、今後はさらに認知症施策を推進するとともに、より効率的・効果的な事務分担等を検証する必要があります。
- 認知症カフェ
 - ・今後も新たな場所での開設を目指して取り組みます。

(2) 認知症初期集中支援チーム

- ・認知症初期集中支援チームと様々な関係機関が連携し、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築できるよう検討を進めていきます。

施策② 医療連携の推進

〈主な今後の取組（推進方針）〉

- (1) 周産期医療
 - ・ハイリスク妊婦の早期発見と安全な出産のための妊婦健診受診への取組の強化
- (2) 精神科医療
 - ・精神疾患のある方が、地域で病状に応じた医療や生活支援を受けるための取組の実施
 - ・かかりつけ医と精神科専門医が連携するG-Pネットの普及
- (3) 歯科医療
 - ・障害のある人への歯科治療についての後送体制の確保

〈実施状況（平成27年度、平成28年度）〉

- (1) 周産期医療
 - ・実施済妊娠届受理時、保健師面接が可能な窓口では妊婦全員に保健師面接を実施し、妊婦健診受診について指導を実施しています。

【参考】妊婦健診申請・助成状況

	平成27年度	平成28年度（※平成28年9月末現在）
妊婦健診申請者	5,116人	1,944人
妊婦健診助成回数	55,163回	23,080回

- (2) 精神科医療
 - ・一部実施済平成28年度より、西宮市精神障害者地域移行推進事業として、①包括的かつ継続的な相談支援、②ピアサポーター等を活用した病院内プログラム、③地域体験プログラム、④精神科病院等職員に対する研修を委託実施し、長期入院精神障害者の地域移行を推進しています。
 - ・実施済G-Pネットフローチャート等を作成し、医師会全員に配布しています（平成25年度）。
- (3) 歯科医療
 - ・一部実施済全身麻酔を必要とする処置が必要な患者については、兵庫医科大学病院において一部患者の受け入れを実施しています。

〈今後の課題と方向性（平成29年度以降）〉

- (1) 周産期医療
 - ・ハイリスク妊婦の把握には保健師等による窓口での妊婦の全員面接が望ましいが、保健福祉センター・本庁以外の支所等では実施できていないことが課題です。面接以外での妊娠届から、ハイリスク妊婦を把握し適宜相談指導を行う等の取組もあわせて継続していきます。
- (2) 精神科医療
 - ・課題市内精神科医療機関における多職種連携チームによる訪問等の取組は、広がっていないのが現状です。
- (3) 歯科医療
 - ・西宮歯科総合福祉センターの運営主体である西宮市歯科医師会は中央病院での受入を希望していますが、現状の中央病院では受け入れは困難です。将来的に県立西宮病院との統合を目指していますが、今後のあり方については「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会」において協議中です。

施策③ 北部地域の医療課題の解決

〈主な今後の取組（推進方針）〉

- ・近隣市との情報交換や協議による、救急医療機関に関する情報提供をはじめとした医療連携体制の充実
- ・北部地域に隣接する他市の医療機関における市の実施するがん検診等が受診機関の拡大を目指しての関係機関との調整

〈実施状況（平成 27 年度、平成 28 年度）〉

- ・**実施済**北部地域から比較的アクセスしやすい伊丹市にある阪神北広域こども救急センターとの連携を開始し、深夜帯の小児救急医療体制を拡充しました（再掲）。
- ・**実施済**阪神地域救急医療連携会議などにおいて関係機関との情報交換を行っています。
- ・**一部実施済**平成 28 年度より、北部地区で受診機関の無かった子宮頸がん検診を宝塚市、神戸市の一部医療機関、乳がん検診を神戸市の一部医療機関で実施しています。

【参考】 平成 28 年度（9 月現在）の宝塚市・神戸市医療機関におけるがん検診の受診者実績数

子宮頸がん検診	53 人
乳がん検診	16 人

〈今後の課題と方向性（平成 29 年度以降）〉

- ・他市医療機関の情報提供について関係機関と協議を行います。
- ・他市での一部がん検診の実施を継続するほか、関係機関との調整を図っていきます。

基本目標3 健康でいきいきできるまち

施策① 疾病予防対策の充実

〈主な今後の取組（推進方針）〉

(1) 健康づくり

- ・市民のライフステージに応じた主体的な健康づくりへの支援、健康づくりに取り組みやすい地域づくり。
- ・健康寿命の延伸に向けたロコモティブシンドローム予防、口腔機能の向上を目的とする健康講座の実施
- ・身近な地域で介護予防に取り組めるよう、「西宮いきいき体操」の普及啓発の実施。

(2) 生活習慣病予防

- ・疾病の早期発見を目的とした、特定健診、がん検診、歯周疾患検診などの受診率の向上に向けた普及啓発の実施、受診機会の拡大。
- ・生活習慣病の発症及び重症化予防を目的とした知識の普及啓発や保健指導の実施。

〈実施状況（平成27年度、平成28年度）〉

(1) 健康づくり

- ・**一部実施済**山口保健福祉センターで、地域住民に参加を呼びかけラジオ体操の会を週1回実施しており、その中で運動指導士、歯科衛生士による講座も取り入れています。
- ・**一部実施済**鳴尾地区で地域の関係団体と地域の健康課題について話し合い、協力して健康講座を開催しました。
- ・**実施済**老人クラブ、自治会、社会福祉協議会、民生委員等と連携しながら「西宮いきいき体操」の普及啓発を進めていくほか、実施グループに対して体操指導、口腔体操の指導、認知症等に関する講義を実施しています。

(2) 生活習慣病予防

- ・**実施済**北口保健福祉センター検診施設で隔月に1回休日健診を実施するなど機会を拡大したほか、平成26年より、地区巡回健診についても日曜日に巡回健診を実施しています。
- ・**実施済**特定健診受診対象者のうち、未受診者には受診勧奨を行っているほか、受診者のうち特定保健指導対象者には生活習慣改善のため個別に保健指導を実施しています。

〈今後の課題と方向性（平成29年度以降）〉

(1) 健康づくり

- ・生活習慣病予防の普及啓発については、平成29年度に行う健康増進計画、食育・食の安心推進計画の中間評価を行うなかで、より効果的な手法を検討していきます。
- ・健康寿命の延伸に向け、健康講座の実施や健康情報の提供を行っていきます。
- ・身近な地域で介護予防に取り組めるよう、「西宮いきいき体操」の取組を継続していきます。
- ・**課題**市民の主体的な取組を進めるためには、地域の健康課題について地域住民と話し合い等の連携が必要であるが、地域により地域団体の活動の幅が異なり連携がとりにくいことが課題です。
- ・**課題**「西宮いきいき体操」について、地域によって実施グループ数に多寡があることが課題です。市内全域で介護予防に取り組めるよう普及啓発を継続します。

(2) 生活習慣病予防

- ・休日健診の拡大については、今後も委託機関と調整していきます。
- ・**課題**特定保健指導実施率向上のために、拒否者への対策を講じる等の工夫が必要です。

施策② 保健・医療に関する情報の発信と普及啓発の強化

〈主な今後の取組（推進方針）〉

- (1) 医療に関する情報提供の充実
 - ・幅広い年齢層や転入者に対応した救急医療をはじめとした医療情報の幅広い媒体による提供
- (2) 健康管理意識の促進
 - ・医療や疾病予防・健康増進を重視した情報発信や普及啓発の実施による、健康診断の受診率や市民の各種疾病に関する知識の向上

〈実施状況（平成 27 年度、平成 28 年度）〉

- (1) 医療に関する情報提供の充実
 - ・**実施済**各種媒体を通じた救急医療情報の提供を行っています。（再掲）
 - ・**実施済**健康や医療等について 24 時間相談対応を行う健康医療相談「ハローにしのみや」について、周知を行っています（再掲）。
- (2) 健康管理意識の促進
 - ・**実施済**平成 28 年 3 月にデータヘルス計画の改訂及び概要版を策定し、ホームページに公開しています。
 - ・**実施済**国保加入者の特定健診の受診率の向上のため、受診歴に応じた個別受診勧奨を実施しています。（再掲）

【参考】 受診勧奨実績

	平成 27 年度	平成 28 年度（※ 9 月末現在）
地区巡回案内	8,584 人（延べ 13,194 人）	15,532 人（延べ 18,598 人）
受診勧奨（受診歴無）	23,335 人	14,001 人
受診勧奨（受診歴有）	11,807 人	9,957 人

- ・**実施済**健診委託医療機関、薬剤師会へ受診勧奨ポスターの掲示を依頼しています
- ・**実施済**特定健診受診者に年度毎に病態別のリーフレットを作成して配布しています。

【参考】 リーフレット配布実績

	平成 27 年度	平成 28 年度（※ 9 月末現在）
内容	脂質異常症及びCKD（慢性腎不全） について	高尿酸血症及びCKD（慢性腎不全） について
配布数	22,987 人	4,962 人

〈今後の課題と方向性（平成 29 年度以降）〉

- (1) 医療に関する情報提供の充実
 - ・今後も各種媒体を利用し、継続的に情報提供、周知を実施します。
- (2) 健康管理意識の促進
 - ・特定健診の受診率の向上のため今後も取組を継続して実施します。
 - ・今後も、健康管理に係る知識の普及啓発を継続して実施します。
 - ・**課題**データヘルス計画の普及啓発が進んでいないことが課題です。

市立中央病院の役割

施策① 市立中央病院の役割

〈主な今後の取組（推進方針）〉

- (1) 救急医療
 - ・現在の小児二次救急輪番制当番日の維持
 - ・2次救急への対応能力の向上に向けた体制の整備
- (2) 地域完結型医療
 - ・地域の診療所をはじめとする他の医療機関等との連携の強化による患者に対する切れ目のない医療サービスの提供
 - ・紹介率・逆紹介率の向上を目的として、患者やその家族等に対する市立中央病院と地域の診療所等との連携や役割分担についての周知及びかかりつけ医の普及に向けた啓発の実施
 - ・現在の病床機能の分化、重症患者や急性期を脱した患者を受け入れる病床の新規整備
- (3) 災害時の医療
 - ・建物の耐震化と施設・設備の老朽化対策
 - ・災害を想定した院内の診療体制及び他の医療機関・団体との連携強化
- (4) 将来の医療需要への対応
 - ・医療需要の増加に対応するためのスタッフの確保、スキルアップ
 - ・更新時期を迎えた医療機器等の整備

〈実施状況（平成27年度、平成28年度）〉

(1) 救急医療

- ・**一部実施済**小児二次救急の輪番病院として週2日対応を維持しています。

【参考】小児二次救急輪番事業の実績

平成27年度	590人（うち 救急車搬送件数 251件）
平成28年度（9月末現在）	251人（うち 救急車搬送件数 97件）

- ・**一部実施済**循環器系疾患の診療強化に取り組み、医師の確保や医療機器の更新を行いました。

【参考】循環器系疾患の診療強化実績

スタッフの増員	循環器内科医師数の増員1名 （平成27年度：3名 → 平成28年度：4名）
病床の設置	重症患者受入病床の設置
医療機器の整備	デジタルX線血管撮影装置の増設

(2) 地域完結型医療

- ・**実施済**地域の医療機関等との連携の強化を図るため、地域の診療所への訪問活動を実施するとともに、「連携医制度」を平成28年4月より導入しました。
- ・**実施済**地域包括ケア病棟及び重症患者受入病床を設置しました。

【参考】新設病床の稼働率（平成28年4月～9月平均）

地域包括ケア病棟	57.0%
重症患者受入病床	46.7%

- ・**実施済**急性期を脱した患者に対し、地域の診療所への逆紹介を積極的に行うとともに、病院利用者に対し、院内の掲示等によりかかりつけ医制度の周知を図りました。

【参考】 紹介率、逆紹介率実績

	平成 27 年度	平成 28 年度（9 月末現在）
紹介率	55.0%	57.0%
逆紹介率	57.2%	67.0%

(3) 災害時の医療

- ・**一部実施済**平成 29 年度の耐震化工事に向けた所要の手続を実施したほか、平成 28 年度、29 年度にかけて、受変電設備改修を進めています。
- ・**実施済**地震の発生による多数の負傷者の受け入れを想定し、トリアージ→搬送→治療という一連の流れを確認する訓練を実施する等、毎年度、災害対策訓練を実施しています。

(4) 将来への医療需要への対応

- ・**実施済**診療機能の強化に向け、医療スタッフの確保とともに体制の整備を進めています。

【参考】 医療スタッフの確保（増員）状況

	平成 27 年度	平成 28 年度（9 月末現在）
医師（正規）	44 人	50 人
看護師（正規）	128 人	131 人
医療技術職（正規）	45 人	47 人

- ・**一部実施済**経営改革プランにおいて、大型医療機器の更新についてスケジュールを定め、順次実施しています。

(5) 将来のあり方についての検討

- ・**一部実施済**「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会」を平成 28 年 4 月に設置し、将来のあり方について協議いただいています（平成 28 年中に 3 回開催）。

〈今後の課題と方向性（平成 29 年度以降）〉

(1) 救急医療

- ・現在の小児二次救急輪番体制の維持
- ・引き続き、院内ワーキンググループで救急患者に対応できる体制の整備・強化について検討を行います。

(2) 地域完結型医療

- ・新たに設置した病床の活用を図り、患者の状態に応じた適切な医療を提供できるよう努めます。

(3) 災害時の医療

- ・災害時に備え、引き続き、災害対策訓練での課題を検証し、院内での診療体制の強化に取り組むとともに、他の医療機関、各種団体との連携の強化に努めます。

(4) 将来の医療需要への対応

- ・引き続き、医療スタッフの確保とともに、チーム医療を推進するなど、診療機能の強化に向けた体制の整備を図ります。

(5) 将来のあり方

- ・公立病院としての役割を果たし、市内の医療環境の向上を図るため、「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会」からの報告を踏まえ、引き続き、県立西宮病院との統合を目指した取組を進めます。